

静岡大学サイエンス月間

「構造の美」

Beauty in Mathematics & Physics

日時: 平成22年3月11日(木) 13:30-16:30

会場: 理学部C棟 309号室

[申し込み不要・参加費不要]

13:30-14:15 「半導体から新しい光を創る」 阪東一毅 (物理学科)
青色発光ダイオードや有機ELディスプレイなど、最近の発光材料は実は半導体でできています。これら半導体をナノサイズに小さくするとこれまでになかった新しい「光」を創り出すことができます。半導体が持つ光り輝く可能性を紹介いたします。

14:30-15:15 「実数っていくつあるの？」 依岡輝幸 (数学科)
カントルが提唱した実数の個数に関する仮説 "連続体仮説" は、ゲーデルとコーエンにより、「数学の公理系から証明も反証もされない」ことが証明されました。これはどういうことでしょうか？連続体仮説の歴史と最新事情をお話します。

15:30-16:15 「X線装置の進歩と構造解析」 岡俊彦 (物理学科)
X線回折現象にもとづく構造解析技術は発見からほぼ100年たちますが、現在でも装置の大型化や測定技術の進歩などで向上し続けています。この講演ではこれらの話に加え、講演者の専門である生物物理に関連する構造解析のトピックスをとりあげます。